

接てあ郡の村八合の地ありといふは是を云
ふや外にあ郡へ入るゝも村居なり但大子村
ハ川北よりありて田川郡より属するは川筋堀
留ゝるなり年記亦田川郡の郡小記
傳れを略之

一 松山寺屋敷

昔ハ此地を中山と云ふと云ふ正保年中
酒井家内左衛門殿より庶子大學頭
へ分賜ありて寛文年中丑寅の二年に至
て屋敷形を經始當石見守成り至る此
二万石田川飽海二郡の内ハ八千石あり村
山郡内は二万二千石あり

一 中山大明神

本代崇々多神二座あり是等三座居あり
古く傳つ所なり是れに月日満年に修
末社に冠の社といふあり盲人を多る子細
海秘なり故に畧之

一 洞瀧山總光寺

けり嘉慶年中月房和尚といふ一の住
して中山本代の子依成上野といふ人